

令和5年度 学校評価（自己評価及び学校関係者評価）

上島町立魚島小・中学校

〈小学校の教育目標〉 『よく考え、進んで実行する児童の育成 - 自己教育力の育成 - 』

〈中学校の教育目標〉 『自ら考え、進んで実践する生徒の育成 - 自己教育力の育成 - 』

評定：A=対象の80%以上が肯定 B=対象の70%以上が肯定 C=対象の60%以上が肯定 D=対象の60%未満が肯定

5
年
度

4
年
度

項目	評価指標		評定	評定	自己評価			
教育目標	1	教職員	学校の教育目標の達成に向けて、具体的に取り組んでいる。	A	A	昨年度と比べ、保護者の評定が高くなった。一方、教職員の評定は変わっていないが、肯定率は低くなった。教職員全員が教育目標の達成に向けて確実に取り組んでいこう、意識の統一を図る。		
		児童生徒	「よく（自ら）考え、進んで実行（実践）すること」ができてきている。	A	A			
		保護者	学校は、「よく考え、進んで実行（実践）する子どもの育成」の実現のために、積極的な取組をしている。	A	C			
		地域	学校は、「よく考え、進んで実行（実践）する子どもの育成」の実現のために、積極的な取組をしている。	A	A			
	2	教職員	「心豊かな児童生徒を育てる」のために、具体的に取り組んでいる。	A	A		昨年度と比べ、保護者の評定がAに上がった。今年度は、離島留学生を迎えたり、朝や昼休みなど、児童生徒・教員全員で活動する時間が増えたりしたためだと考える。今後も児童生徒全員が「楽しい」と言えるように、一人一人の思いに寄り添った教育活動を行うようにする。	
		児童生徒	学校は楽しい。	A	A			
		保護者	児童生徒は、元気に生き生きと学校生活を送っている。	A	C			
		地域	児童生徒は、元気に生き生きと学校生活を送っている。	A	A			
学力・学習習慣・学習指導	3	教職員	基礎・基本の充実を図り、確かな学力の定着・向上に向けて積極的に取り組んでいる。	A	A	肯定率を見ると、教職員の意識と、保護者の実感に大きな差がある。学力向上推進主任を中心に、学力の向上についての具体的な手立てを考えた。三学期はそれを基に、各教科で実践を行っている。今後も児童生徒に、どのような力を付けさせるのかを教職員全員で共有し、実践していく。		
		児童生徒	学習したことの基礎・基本がわかる。	A	A			
		保護者	児童生徒は、学習したことの基礎・基本がきちんと身に付いている。	A	D			
		地域						
	4	教職員	児童生徒に、発表の仕方や表現力が身に付くよう指導している。	A	A		児童生徒の評価に「どちらかといえばあてはまらない」が見られる。自己肯定感が伸長するような体験や機会を設け、自信を持って、自らの言葉で自らの意見を伝えることができる児童生徒の育成に向けて、取り組んでいく。	
		児童生徒	自分の意見や考えをはっきりと伝えることができてきている。	A	A			
		保護者	児童生徒は、自分の意見や考えをはっきりと伝えることができてきている。	A	B			
		地域	児童生徒は、人前でも自分の意見や考えをはっきりと伝えることができてきている。	B	B			
	5	教職員	指導法や指導体制の工夫・改善に努め、分かる授業づくりに取り組んでいる。	A	A			全体的に良好な評価となった。少人数であるため、個に応じた指導ができることが本校の強みである。その強みを生かし、今後も「分かる・できる・楽しい授業」になるように今以上に授業改善に努める。
		児童生徒	先生たちは、分かりやすく教えてくれている。	A	A			
		保護者	学校は、楽しく分かりやすい授業づくりに努めている。	A	C			
		地域						
6	教職員	効果的な宿題の提示や自主学習の在り方など、具体的な指導に取り組んでいる。	A	A	家庭学習に関しては「学習時間の確保も大切であるが、学習内容の充実も大切である。」という指導もしているため、「どちらかといえばあてはまらない・あてはまらない」と回答した児童生徒が居ると考えられる。家庭学習の在り方について指導を続けるとともに、課題の量や内容に関して、家庭との連携も深めていく。			
	児童生徒	小学生は宿題や自主学習を20分(1年)・30分(2年)・40分(3年)・50分(4年)・60分(5年)・70分(6年)、中学生は自主学習を60分以上している。	B	C				
	保護者	児童生徒は、家庭学習の習慣が身に付いている。	A	C				
	地域							
学校行事	7	教職員	学校行事や体験的な活動は、創意工夫・改善できている。	A		B	制限がなくなったこともあり、多くの行事をコロナ禍以前の状態とほぼ同程度で行うことができるようになった。学校行事がただの遊びにならないよう、これからも行事の意義を伝える事前指導と、その後の成長の見取りを行う事後指導の充実を図っていく。	
		児童生徒	学校行事や、学校での色々な体験活動には満足している。	A		A		
		保護者	魚島小・中学校の学校行事（運動会や合同発表会等）は、充実している。	A		A		
		地域	魚島小・中学校の学校行事（運動会や合同発表会等）は、充実している。	A		A		
心の教育	8	教職員	道徳、学級活動、人権集会などの充実にも努め、自他の生命尊重や人権意識の高揚を図っている。	A		A	今年度も人権・同和教育便りや人権集会などを通し、人権意識の高揚を図った。離島留学生を迎えたことで、仲間づくりを意識し、児童生徒全員で活動する機会を増やした。また、今年度も長島愛生園を訪問し、差別の現実から学ぶ機会を持てたことは大きかった。	
		児童生徒	まわりの人に親切にしたり、仲良くしたりできている。	A		A		
		保護者	学校は、児童生徒の人間関係づくりに努めている。	A		A		
		地域						

進路指導	教職員	将来の夢や希望について話したり、考えたりする機会を設けている。	A	A	中学校三学年合同学級活動での進路指導や、キャリアに関する講話をしていただく「地域の働く人に学ぶ会」を行った。一方で、将来についてまだ十分に見通しが立てられていない児童生徒もいる。様々な経験ができる機会を設け、将来への明るい展望が持てるようにする。
	児童生徒	将来の夢や希望について話したり、考えたりしたことがある。	A	A	
	保護者	児童生徒は、自分の将来の夢や希望について話したことがある。	A	A	
	地域				
基本的な生活習慣	教職員	手洗いやうがい、「早寝・早起き・朝ご飯」など、基本的な生活習慣の育成に向けて、きちんと指導している。	A	A	教職員の評価が昨年度から低くなっている。学校での基本的な生活習慣についての指導の足並みを揃えなければならない。
	児童生徒	手洗いやうがい、「早寝・早起き・朝ご飯」が毎日できている。	A	A	
	保護者	児童生徒は、手洗いやうがい、「早寝・早起き・朝ご飯」など、基本的な生活習慣が身に付いている。	A	B	
	地域				
	教職員	進んで、気持ちの良い挨拶や礼儀正しい行動ができるよう、きちんと指導している。	A	A	保護者・地域の肯定率が昨年度よりも高くなった。また、記述式回答においても、挨拶についての評価をいただいている。児童生徒数が増えたことや、コロナ禍からの脱却など、生活の変化が理由ではないかと考える。更なる挨拶の活性化に向けて、教職員が模範となるよう努めていく。
	児童生徒	気持ちの良い挨拶や、礼儀正しい行動ができている。	A	A	
	保護者	児童生徒は、気持ちの良い挨拶や礼儀正しい行動ができている。	A	A	
	地域	児童生徒は、進んで、気持ちの良い挨拶や礼儀正しい行動ができている。	A	A	
	教職員	交通ルールやマナーを守って、安全に過ごせるよう、きちんと指導している。	A	A	島内では自転車に乗る機会は少ないが、島外に出た時に交通ルールやマナーを守れるよう、引き続き、啓発・指導を行っていく。
	児童生徒	交通ルールやマナーを守って、安全に過ごせるようにしている。	A	A	
	保護者	児童生徒は、交通ルールやマナーを守って、安全に過ごすことができている。	A	A	
	地域				
生徒指導	教職員	アンケートや教育相談などを活用し、全教職員が協力し、いじめや不登校問題の早期発見・対応に取り組んでいる。	A	A	児童生徒全員が「あてはまる」と回答している。学校では、毎日の日記指導や、毎月の心のアンケート、教育相談などを通して児童生徒の悩みの把握に努めている。これからも引き続き児童生徒に寄り添った関わりを続けていく。
	児童生徒	困ったことがあったら、保護者や先生に相談している。	A	A	
	保護者	学校は、いじめや不登校問題、その他の問題に対して早期発見・早期対応に取り組んでいる。	A	A	
	地域	学校は、いじめや不登校問題、その他の問題に対して早期発見・早期対応に取り組んでいる。	A	A	
清掃・奉仕活動	教職員	清掃活動や社会奉仕活動、ボランティア活動などの大切さを教え、一生懸命できるように指導している。	A	A	教職員が模範となるよう、清掃活動への取組について意識統一を図った。また、美化・給食委員会も児童生徒が清掃活動に目標を持って取り組めるような企画を考えた。こうした取組によって、児童生徒の評価が昨年度よりも高くなったと考える。
	児童生徒	そうじや、他の人の役に立つ行動を一生懸命している。	A	A	
	保護者	学校は、きちんと掃除や花の手入れができており、校庭や校舎がいつも美しく整備されている。	A	A	
	地域	学校は、きちんと掃除や花の手入れができており、校庭や校舎がいつも美しく整備されている。	A	A	
施設設備	教職員	非常時に適切に対応できるような訓練や指導の充実に努めている。	A	A	避難訓練の方法や内容を見直し、より実践的な訓練になるようにした。一方、児童生徒の評価は昨年よりも低くなっている。次年度は、防災について児童生徒に考えさせる場をより多く設け、防災意識の伸長を図る。
	児童生徒	地震や火事のときや、不審者に出会ったときの安全な逃げ方を知っている。	B	A	
	保護者	災害や不審者に対して、安心して子どもを預けられる安全面に配慮した学校だ。	A	A	
	地域	災害や不審者等に対して、安心して子どもを預けられる安全面に配慮した学校だ。	A	A	
保護者・地域との連携	教職員	家庭や地域と適切に連携を図ったり、学校の取組を理解してもらうための情報発信に取り組んでいる。	A	A	児童生徒の評価が昨年度と比べ低くなった。学校便りやホームページに加え、今年度はGoogleクラスルームを活用し、保護者に学校の様子を配信している。それを利用することで、離島留学生の保護者にも電子でプリントを配布している。
	児童生徒	学校からのプリントを保護者にきちんと渡している。	B	A	
	保護者	学校だよりやホームページなどを通して、学校の取組の様子を把握することができている。	A	A	
	地域	学校だよりやホームページなどを通して、児童生徒の様子を把握することができている。	A	A	

今年度の学校の教育活動で、「良いと思われるところ」がありましたらお書きください。

<保護者>

- 今年度からの新たな取組でしたが、全力で子供たちに寄り添ってもらっています。大変だと思いますが、確実に子供たちの笑顔が増えてます。ありがとうございます。
- 町民の皆さんとの距離が近く、子供たちの成長を皆さんが見守ってくれていると感じます。
- 魚島小・中学校は、離島の教育活動の見本となると思っています。朝と昼休みにみんなで身体を動かす時間を作っていたり、子供たちだけでなく先生も一緒に野球などのスポーツができる機会が多いことは魚島小・中学校の良さでもあるので、これからも教育活動として続けてほしいです。
- 陸上部、大谷グローブ後の野球など、大変ありがたかったです。
- 中間・期末テスト前、長期休業中など、勉強を見ていただいたこと。
- 留学生が来て、競争意識が出たこと。

<地域>

- 児童生徒と、教員とのコミュニケーションがよくはかられていると感じます。
- 子供たちはいつも気持ちの良い挨拶をしてくれます。
- 児童生徒が増えたこともあり、みんな明るくなり、進んで気持ち良い挨拶ができるようになったと思います。
- 地元の子供たちと留学生がとても仲良く、大変良いと思います。
- 離島留学で四人の生徒たちが一年を魚島で元気に過ごしてくれていることが良かったと思います。地元の子供たちも頑張ってくれていると思います。
- 不審者対応訓練がよかった。

今年度の学校の教育活動で、「改善したら良いと思われること」がありましたら、お書きください。

<保護者>

- △ 今後、算数や数学検定も受験することができるようになればいいなと思います。

<地域>

令和5年度 遠隔合同授業 魚島中×弓削中（中2数学）魚島中生徒アンケート結果

<良かったこと>

- 今までたくさん問題を解いてきたので、テストがいつもよりできました。数学をしてきてよかったと初めて思えたと、嬉しかったです。
- たくさん問題がとけてよかった。
- 授業はわかりやすかったです。

<課題>

- △ 遠隔合同授業では、課題の提出期限がわかりやすい反面、時々パソコンが固まったり、思うように動かなかったりと、少しやりにくい面がありました。先生が近くにいないので、気軽に質問ができない点も不便でした。
- △ テストをエイリスで行うのは、問題が見つらかったり、操作がわからず焦ってしまったりして、やりにくかったです。
- △ エイリスのテストがときにくかった。ノートを書くことがなかったので、家での勉強がやりにくかった。

学校運営協議会でいただいた主な意見及び本校からの回答

- 「離島留学生が来て競争意識が出たこと」が良い点であるという意見が出ているが、学校側から見て、その様子は如実に分かるか。
 - ライバルが増えたことで、一番を目指そうという動きが出てきた。全学年対象の英単語テストでは、同級生だけではなく、他学年を意識した動きが見られる。また、競争するだけではなく、教え合う姿も多く見られるようになった。

- 交流学习時に、他校の児童生徒とうまくコミュニケーションを取ることができているか。
 - 対面の交流だけではなく、オンラインでも交流を行っている。年度当初は十分であるとは言えない様子もあったが、回数を重ねる度にできるようになってきている。しかし、まだまだ十分であるとは言えない。

- 遠隔合同授業について、今は中学2年生の数学科だけであるが、将来的には他学年の他教科に拡大していくのか。
 - 今年度は、文部科学省から上島町が受けて中学2年生で実施した。(学年・教科は町からの指定) 令和6年度も中学2年生を対象に遠隔合同授業は実施する。免許外教科担任の解消のため、今年度は数学科での実施だったが、人事配置によって、令和6年度は教科を変更する可能性がある。
相手校と時間割を揃える都合や、生徒の質問に柔軟に対応したり、即座に対応したりすることを考えると、多学年・他教科での遠隔合同授業の実施は現実として難しい部分がある。

- Googleクラスの書き込みは、家庭での会話の糸口になっており、とても役に立っている。子供と離れて暮らす離島留学生の保護者にとっても安心材料の一つになっていると思う。
 - Googleクラスルームは、保護者に限定公開しているため、学校ホームページには掲載していない内容(児童生徒のその日一日の感想や、解像度を下げた写真)及び、学校からの各種お知らせを掲載している。安心・安全な学校づくりの取組の一つになるよう、今後も継続する。